

心血管イベントのバイオマーカーとしてのアキレス腱肥厚 の有用性に関する研究

1. 研究の対象

2016年8月以降に循環器疾患のため第3内科に入院した患者さま

2. 研究目的・方法

目的

アキレス腱肥厚は家族性高コレステロール血症の診断に用いられ、アキレス腱が厚いほど心血管イベントが多いことが報告されています。しかし、家族性高コレステロール血症以外の高コレステロール血症患者ではアキレス腱肥厚に関する報告はありません。

本研究では、「家族性高コレステロール患者以外でも、アキレス腱が厚いほど動脈硬化が進行しており、心血管イベント発症のリスクが高い」という仮説を実証することを目的としています。

方法

2016～2018年：アキレス腱の測定を行なった対象症例の抽出



2018～2019年：データ入力・評価

目標症例数:900例

症例登録期間:人を対象とする医学系研究倫理委員会承認日～2018年7月31日までとする。

研究期間:人を対象とする医学系研究倫理委員会承認日～2021年12月31日までとする

3. 研究に用いる試料・情報の種類

1. アキレス腱厚さの測定：入院中にX線軟線撮影により両側のアキレス腱を撮影し、その厚さを測定する。
2. 心血管イベント：今回入院も含んだ狭心症及び心筋梗塞による入院や冠血行再建術（経皮的冠動脈インターベンション、冠動脈バイパス術）

の既往。

3. 背景因子：入院時に冠危険因子の有無（高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙歴、飲酒歴、慢性腎臓病、タンパク尿、家族歴の有無）、虚血性心疾患の既往（心筋梗塞、狭心症既往の有無）、冠血行再建術の既往（経皮的冠動脈インターベンション、冠動脈バイパス術の有無）等を入院診療録または本人聴取により記録する。
4. 臨床パラメーター：年齢、性別、入院時バイタル（身長、体重、BMI、血圧、脈拍）、血液一般、生化学、血清脂質（T-Chol, TG, HDL-C, LDL-C）、血中脂肪酸分画、糖尿病関連（空腹時血糖, HbA1c）、尿検査、血圧脈波検査（ABI, PWV）心エコー、NYHA、Noria
5. 内服薬：降圧薬、糖尿病治療薬、脂質異常症治療薬、利尿薬、強心薬、抗凝固薬、抗血小板治療薬を記録する。
6. 併用治療:HD、PCI,CABG,IABP、PCPS、CPAP/ASV、CRT、CHDF、hANP、DOB,PDE-Ⅲ阻害薬

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでに統計、解析、発表がされている場合など、除外できない場合がありますので、その際はご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

所属:大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座

職名:教授

氏名:大屋 祐輔

電話:098-895-1150

分担者：

琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座

准教授 岩淵成志

琉球大学医学部附属病院 リハビリテーション部

助教 新里朋子

琉球大学医学部附属病院 第3内科

助教 池宮城秀一

琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座

助教 當間裕一郎

琉球大学医学部附属病院 第3内科

医員 浅田宏史

琉球大学医学部附属病院 第3内科

医員 呉屋薫

琉球大学医学部附属病院 第3内科

医員 潮平朝洋

琉球大学医学部附属病院 第3内科

医員 永田春乃

琉球大学医学部附属病院 第3内科

医員 勝連朝史

琉球大学医学部附属病院 第3内科

医員 杉山諒

琉球大学医学部附属病院 第3内科

医員 湧川林

琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座

特命一般職員 仲程舞衣

琉球大学医学部医学科

学生 新城 翔太